

1 地域別構想の位置づけ

地域別構想は、全体構想で示された方針を踏まえ、地域の特性や市民ニーズに対応した地域固有の方針についてまとめたものです。構想の策定にあたっては、市民アンケートやワークショップ、ヒアリングにより地域住民の意見を伺い、全体構想と整合を図りながら、実現性も踏まえ、計画に反映しています。

2 地域区分の設定

地域区分は、中学校区単位により、「亀崎地域」、「乙川地域」、「半田地域」、「成岩地域」、「青山地域」の5地域の他、中心市街地を含め区分しています。



■ 地域区分の設定

参考：地域別の人口・世帯数

	総人口			年少人口(0～14歳)			生産年齢人口(15歳～64歳)			老年人口(65歳～)			総世帯数		
	H27	R2	R2-H27	H27	R2	R2-H27	H27	R2	R2-H27	H27	R2	R2-H27	H27	R2	R2-H27
亀崎地域	13,446	13,235	▼211	2,044	1,661	▼383	8,126	7,995	▼131	3,235	3,475	240	5,009	5,231	222
乙川地域	29,792	30,392	600	4,165	4,127	▼38	18,792	18,704	▼88	6,630	7,218	588	11,482	12,266	784
半田地域	29,007	29,281	274	3,767	3,617	▼150	18,032	17,987	▼45	7,038	7,242	204	11,782	12,159	377
成岩地域	22,702	23,343	641	3,324	3,151	▼173	14,501	14,580	79	4,735	5,232	497	9,348	9,207	▼141
青山地域	21,695	21,298	▼397	2,924	2,654	▼270	13,583	13,034	▼549	4,967	5,307	340	8,592	8,834	242
中心市街地	10,257	10,203	▼54	1,316	1,219	▼97	6,140	6,103	▼37	2,719	2,698	▼21	4,314	4,343	29

※国勢調査 100mメッシュデータによる集計（按分のため合計値は不一致の場合がある）

※中心市街地の数値はJ R 半田駅から 800m圏内の集計値（中心市街地の数値は、半田地域、成岩地域にも計上されている）

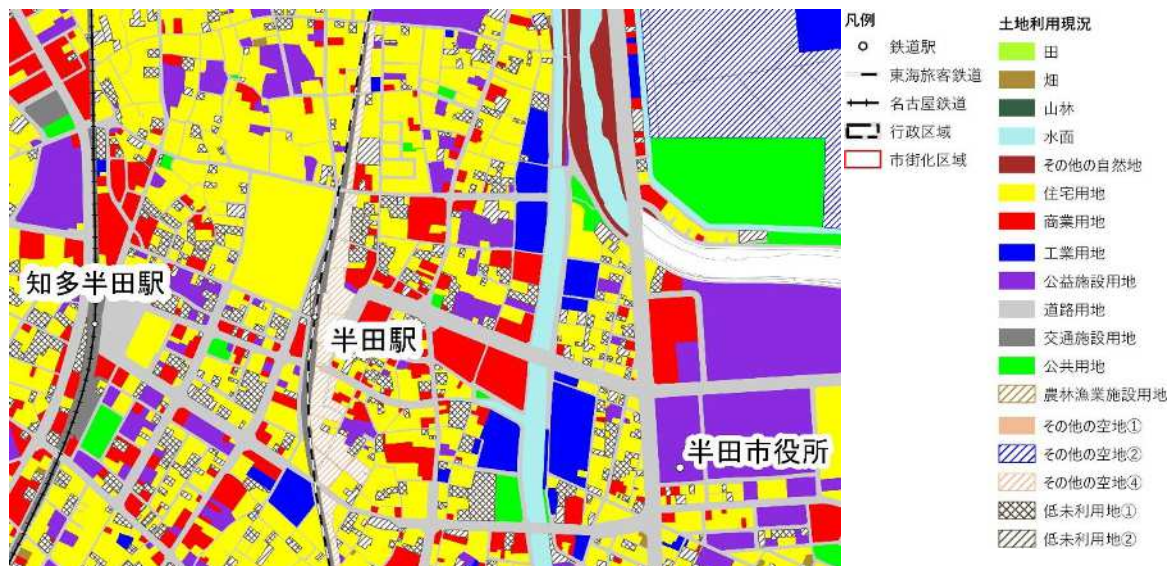
3 地域別の都市づくりの方針

中心市街地

（１）地域の概要

本計画では名鉄知多半田駅・ＪＲ半田駅周辺から市役所周辺までのエリアを、２つの鉄道駅を有し、半田運河等の半田特有の魅力であふれる市の中心市街地と位置付けています。

名鉄知多半田駅周辺の高度化されたエリアや、土地区画整理事業などの基盤整備を契機に新たなまちの形成を図るＪＲ半田駅周辺エリア、歴史・文化的な空間を形成する半田運河周辺のエリア、公共施設が集積する市役所周辺のエリアといった多様な都市空間が形成されています。



■中心市街地の土地利用



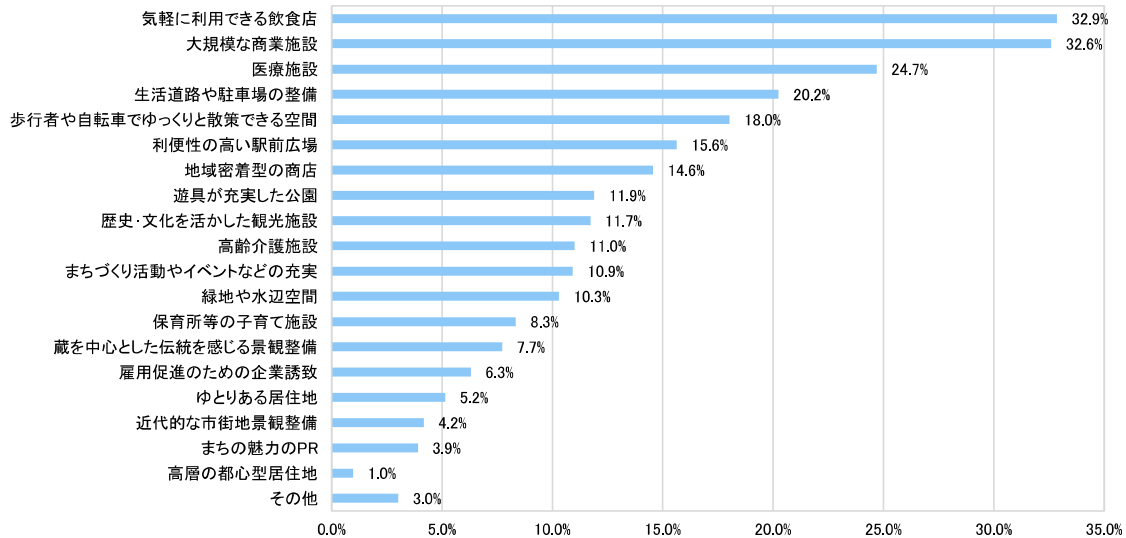
■名鉄知多半田駅周辺



■ＪＲ半田駅高架事業

（２）市民アンケート調査

「気軽に利用できる飲食店」「大規模な商業施設」「医療施設」に対するニーズが高くなっています。



■「快適に生活でき、多くの人が出かけたたい」と思うまちづくりを推進するために
どのようなことが重要か

（３）地域の特性、主な課題

中心市街地の特性

- 交通アクセスが良く、生活利便性が高い
- 暮らしやすい住環境
- 老舗、地元の有名店の立地
- 半田運河、旧中埜家住宅等の歴史・文化資源の集積
- 十ヶ川沿いの桜並木

中心市街地の主な課題

- 以前のように魅力的な店舗が少なく、1日中滞在できない
- 市の中心部としての印象が弱い
- 公園や緑が少なく感じる
- 自動車アクセスへの対応（駐車場の確保・活用）

（４）地域づくりの目標

○都市的な空間と歴史・文化的な空間の融合による半田らしさを感じる賑わいの創出

高度利用により都市的な空間を形成する知多半田駅前周辺から、歴史・文化的な空間を形成する半田運河周辺を含む市役所までのエリアにおいて、日常的に多くの人が訪れ、1日中過ごすことができる空間を形成し、賑わいを創出します。

○誰もが利用しやすい交通環境づくり

誰もが中心市街地に出かけられるよう、地域や民間企業と連携を図りながら、公共交通サービスの確保に努めます。

また、自動車によるアクセス利便性の確保や、安全な歩行空間の整備を推進します。

○快適に生活できる住環境づくり

歴史・文化や、自然を感じながら快適に生活できる緑豊かな住環境づくりを推進します。



（５）地域づくりの方針

商業機能

- 市民の生活利便性を確保するため、立地適正化計画における都市機能誘導区域の制度・事業を活用し、公的サービスや商業等の基幹的な都市機能の維持を図ります。
- 名鉄知多半田駅からＪＲ半田駅にかけては、補助制度により空き店舗等を活用した出店を促進するなど、魅力ある店舗の誘致を図ります。
- ＪＲ半田駅周辺では、半田運河につながる景観に配慮しながら、歴史と文化を活かし、賑わいと交流を創出する商業店舗等の立地を促進します。
- 創造連携実践センター（コココリン）を拠点とした起業・創造支援や公民連携による商業機能の誘導により、駅前にふさわしい賑わいの創出を図ります。

居住機能

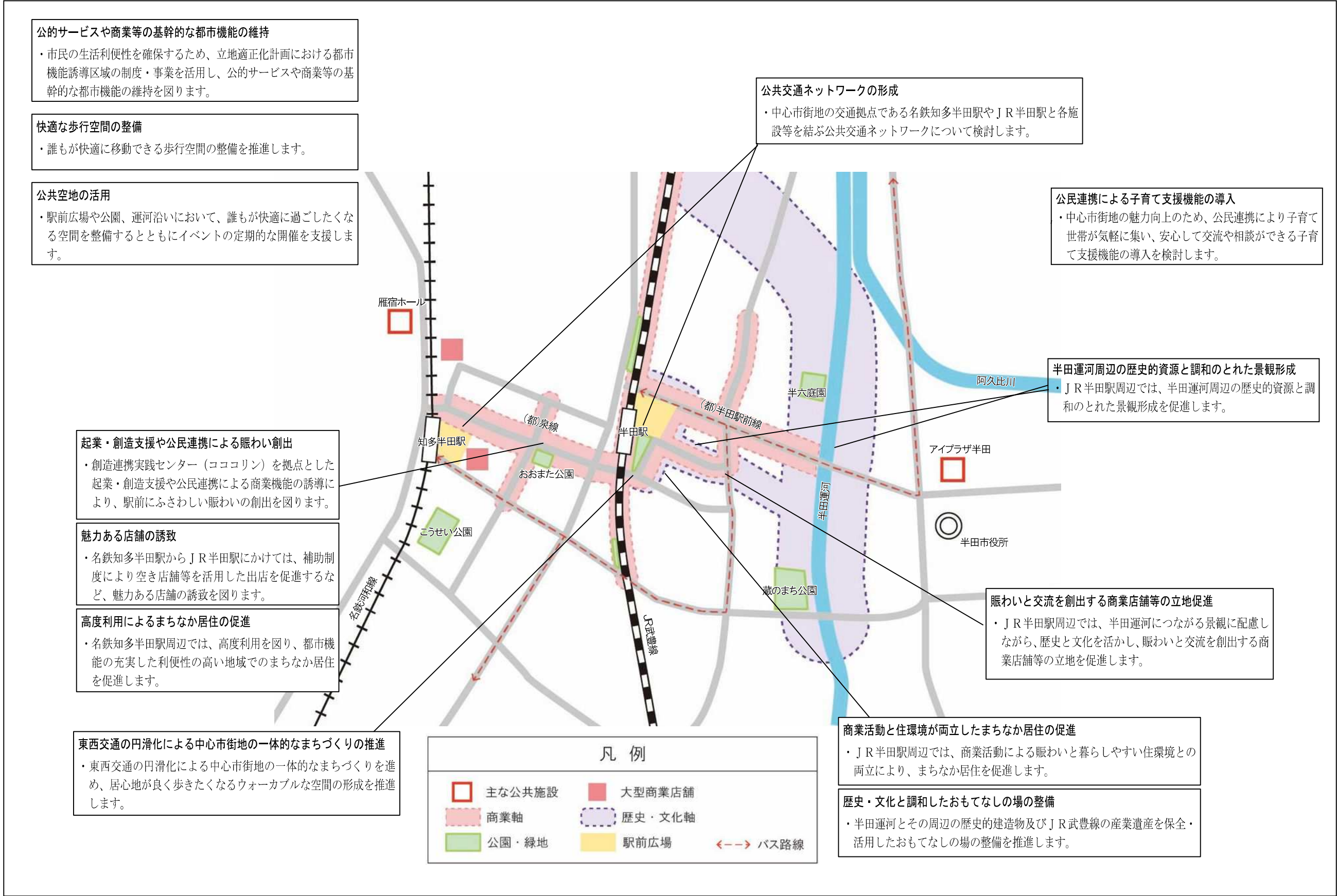
- 名鉄知多半田駅周辺では、高度利用を図り、都市機能の充実した利便性の高い地域でのまちなか居住を促進します。
- ＪＲ半田駅周辺では、商業活動による賑わいと暮らしやすい住環境との両立により、まちなか居住を促進します。

歴史・文化

- ＪＲ半田駅周辺では、半田運河周辺の歴史的資源と調和のとれた景観形成を促進します。
- 半田運河とその周辺の歴史的建造物及びＪＲ武豊線の産業遺産を保全・活用したおもてなしの場の整備を推進します。

回遊空間・滞留空間

- 東西交通の円滑化による中心市街地の一体的なまちづくりを進め、居心地が良く歩きたくなるウォーカブルな空間の形成を推進します。
- 誰もが快適に移動できる歩行空間の整備を推進します。
- 駅前広場や公園、運河沿いにおいて、誰もが快適に過ごしたくなる空間を整備するとともにイベントの定期的な開催を支援します。
- 中心市街地の交通拠点である名鉄知多半田駅やＪＲ半田駅と各施設等を結ぶ公共交通ネットワークについて検討します。
- 中心市街地の魅力向上のため、公民連携により子育て世帯が気軽に集い、安心して交流や相談ができる子育て支援機能の導入を検討します。

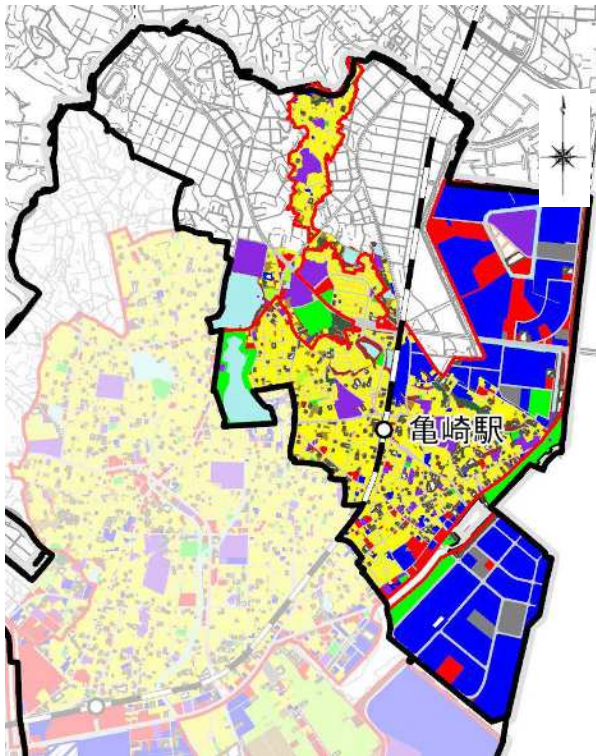


中心市街地の地域づくりの方針図

亀崎地域

（１）地域の概要

地域の東側は海に面しており、古くから港として栄えた海岸沿いの市街地には、密集した民家をぬける「せこみち」と呼ばれる狭い路地等があり、歴史あるまちなみが残る地域です。中央部の丘陵地には整序化された住宅地があり、北部には農業を中心とした田園地域が広がっています。



■ 亀崎地域の土地利用



凡例	土地利用現況
○ 鉄道駅	田
— 東海旅客鉄道	畑
← 名古屋鉄道	山林
□ 行政区域	水面
□ 市街化区域	その他の自然地
	住宅用地
	商業用地
	工業用地
	公益施設用地
	道路用地
	交通施設用地
	公共用地
	農林漁業施設用地
	その他の空地①
	その他の空地②
	その他の空地④
	低未利用地①
	低未利用地②



■ J R 亀崎駅周辺

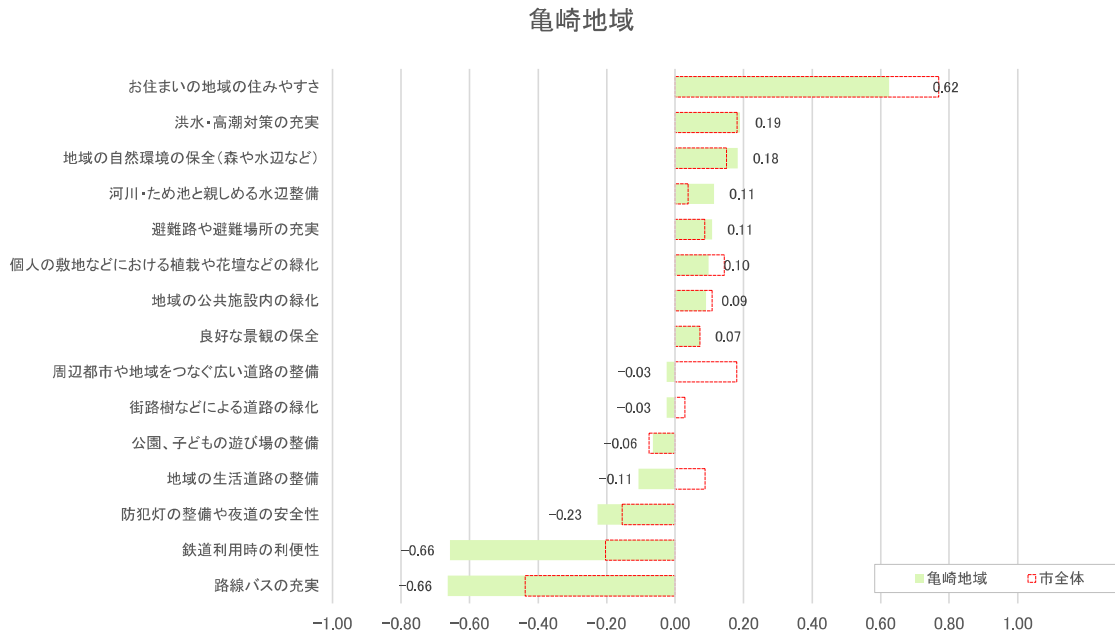


■ 亀崎海浜緑地

IV 地域別構想（亀崎地域）

（２）市民アンケート調査（地域の満足度）

市全体と比較し「洪水・高潮対策の充実」や「避難路や避難場所の充実」といった防災・減災対策や、「地域の自然環境の保全（森や水辺など）」や「河川・ため池と親しめる水辺整備」といった自然環境への満足度が高い状況です。一方で、「鉄道利用時の利便性」や「路線バスの充実」といった公共交通への満足度は低い状況です。



※満足度を「満足：2点」「まあ満足：1点」「普通：0点」「やや不満：-1点」「不満：-2点」として点数化

■亀崎地域の現状に対する満足度

（３）地域の特性、主な課題

地域の特性

- 美しい水田などの自然環境、亀崎潮干祭などの歴史・文化が残っている
- 古くからのまちなみ、海への眺望などの地域特有の景観・風景がある
- 三河地域に近く、自動車交通の利便性が高い
- 亀崎海浜緑地や七本木池公園など様々な活動ができる公園・緑地がある
- 臨海部に先端産業の事業所が立地している

地域の主な課題

- 国道 247 号など慢性的な渋滞への対応
- J R 亀崎駅の機能強化
- 地域内での買い物の利便性の向上
- 公園・緑地が身近にない地域がある
- 古くからの建物が密集しているエリアの防災対策

（４）地域づくりの目標

○駅周辺の賑わいのある拠点の形成

J R 亀崎駅周辺において駅前広場や駐輪場整備により駅の機能を高め、賑わいのある拠点づくりを進めます。

○身近な自然と調和した住環境の形成

周辺に広がる身近な自然と調和しうるおいを感じる住環境を形成します。

○幹線道路網を活かした産業の活性化

名古屋市や三河方面とつながる幹線道路網を活かし、企業誘致を図ります。

○地域特有の自然・歴史を活かした魅力づくり

古くからのまちなみや海への眺望、亀崎潮干祭を活かした魅力づくりを進めます。



（５）地域づくりの方針

地域拠点

- J R 亀崎駅周辺では、駅利用者や地域住民等の利便性を確保するために必要な商業店舗等の立地を促進します。
- 市道亀崎線沿線の近隣商業地域では、地域住民等の利便性を確保するとともに、地域資源を活かした賑わいの創出を図ります。

土地利用

市街化調整区域

- 石塚町周辺の新土地需要ゾーンでは、新たな産業等の企業誘致を図るため、優良な農地の保全に配慮しつつ、地区計画制度等を活用した工業団地等の整備を促進します。

都市交通

道路

- (都) 衣浦西部線は、並行する(都) 土井山新居線も含め道路計画の見直し等の検討を進め、早期の事業化を促進します。
- 老朽化対策や周辺の渋滞解消のため、衣浦大橋の拡幅・かけ替えを促進します。
- J R 亀崎駅周辺へのアクセス利便性の向上を図るため、(都) 藤江亀崎線や(都) 亀崎駅前線について、既存の道路の活用も含め関係機関と協議し整備を検討します。
- (都) 大矢知線は、工業団地の整備状況等を踏まえながら整備を推進します。

IV 地域別構想（亀崎地域）

公共交通等

○ J R 亀崎駅の利便性の向上のため、駅前広場や駐輪場の整備を推進します。

港湾

○ 亀崎港は、みなとの魅力を活かした親しまれる港湾空間とするとともに、周辺環境に配慮したふ頭用地の活用を促進します。

公園・緑地

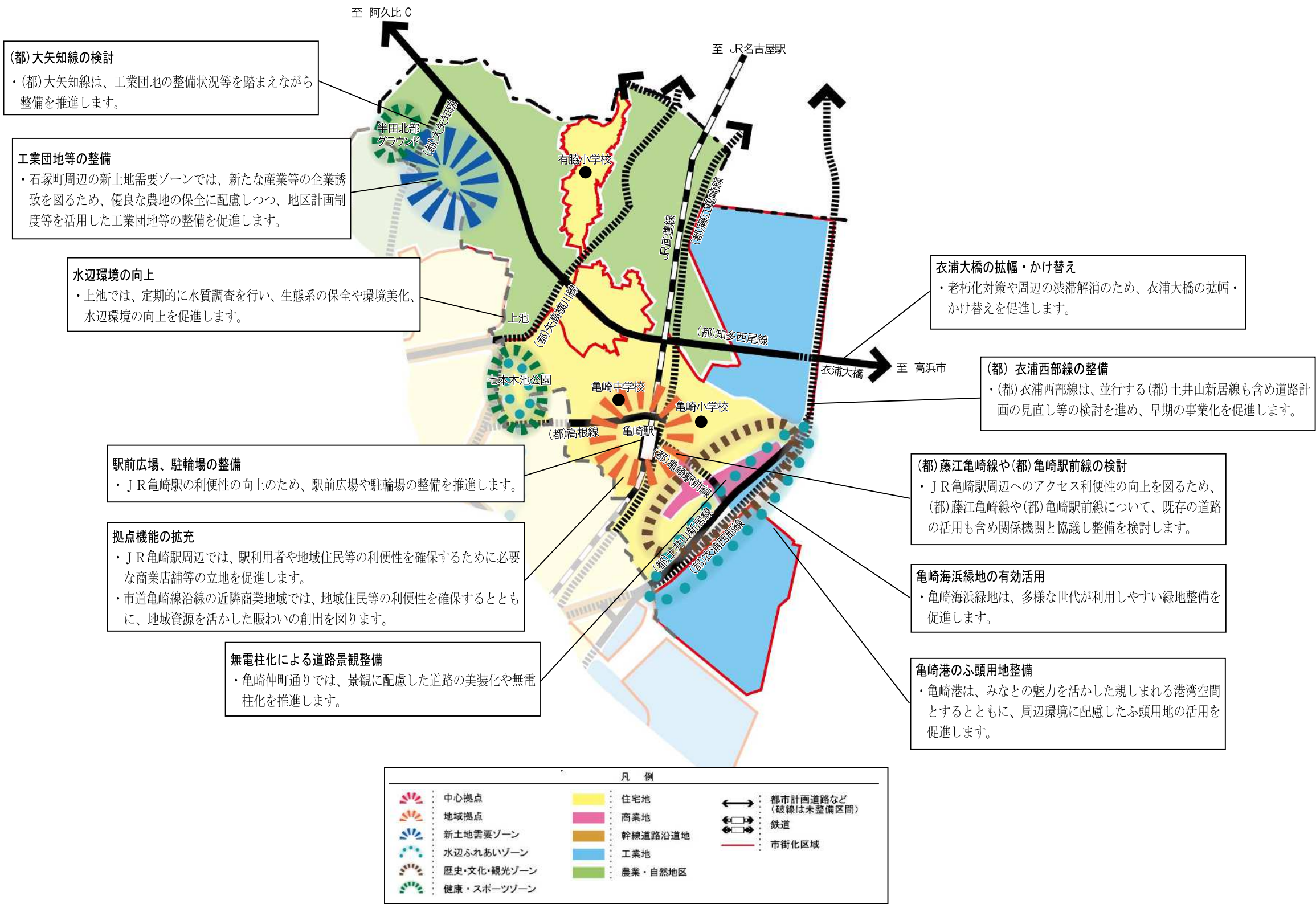
○ 亀崎海浜緑地は、多様な世代が利用しやすい緑地整備を促進します。

河川・ため池

○ 上池では、定期的に水質調査を行い、生態系の保全や環境美化、水辺環境の向上を促進します。

景観形成

○ 亀崎仲町通りでは、景観に配慮した道路の美装化や無電柱化を推進します。



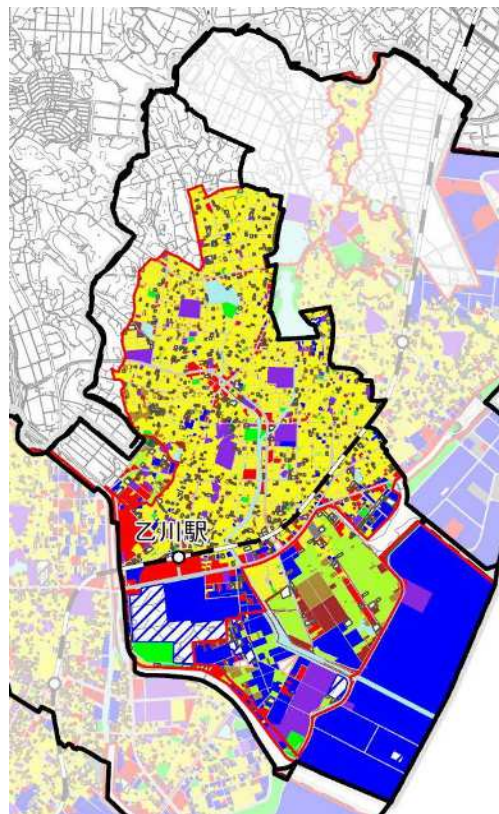
亀崎地域の地域づくりの方針図

乙川地域

（１）地域の概要

地域を横断する国道 247 号により、概ね南側は工業用地が形成されています。

また、ＪＲ乙川駅北側には既成市街地が残っている一方、それ以外では土地区画整理事業等により整序化された市街地が形成されています。



凡例	土地利用現況
○ 鉄道駅	田
— 東海旅客鉄道	畑
↑ 名古屋鉄道	山林
□ 行政区域	水面
□ 市街化区域	その他の自然地
	住宅用地
	商業用地
	工業用地
	公益施設用地
	道路用地
	交通施設用地
	公共用地
	農林漁業施設用地
	その他の空地①
	その他の空地②
	その他の空地④
	低未利用地①
	低未利用地②

■乙川地域の土地利用



■ＪＲ乙川駅周辺

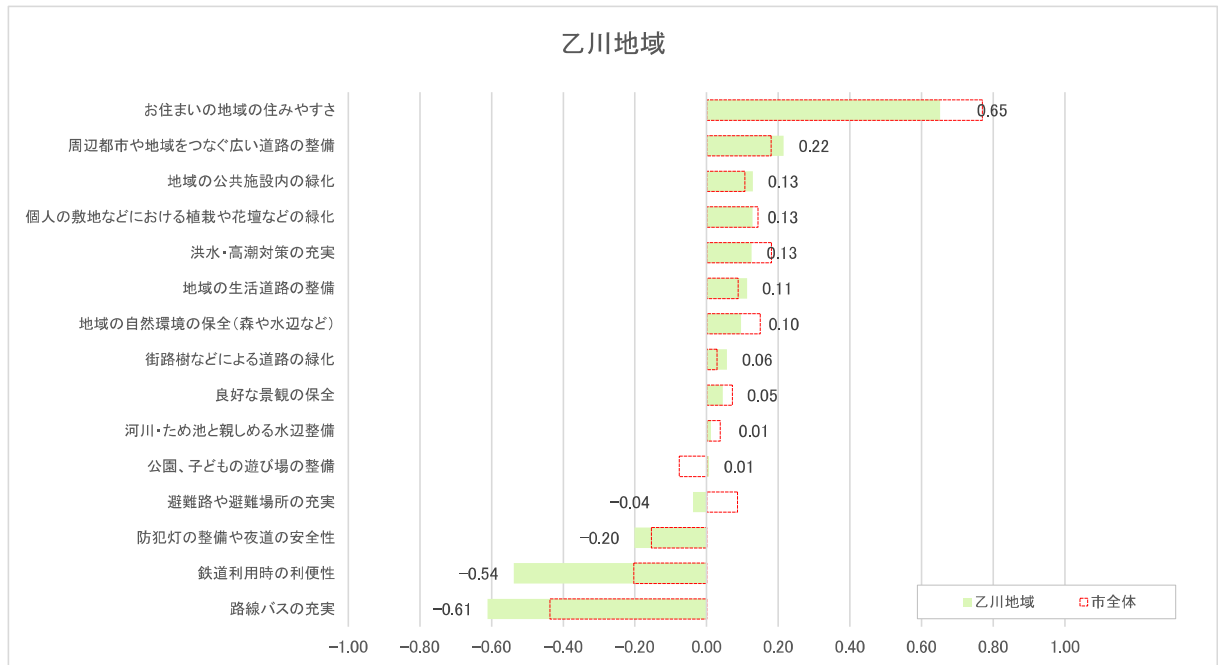


■環状線（乙川中部土地区画整理地内）

IV 地域別構想（乙川地域）

（２）市民アンケート調査（地域の満足度）

市全体と比較し、「周辺都市や地域をつなぐ広い道路の整備」や、「地域の公共施設内の緑化」「街路樹などによる道路の緑化」といった自然環境への満足度が高い状況です。一方で、「鉄道利用時の利便性」や「路線バスの充実」といった公共交通に対する満足度は低い状況です。



※満足度を「満足：2点」「まあ満足：1点」「普通：0点」「やや不満：-1点」「不満：-2点」として点数化

■乙川地域の現状に対する満足度

（３）地域の特性、主な課題

地域の特性

- 住宅地の近くに店舗が立地しており暮らしやすい
- 公園・緑地が充実している
- 稗田川など川との距離も近く、緑豊かな
- 祭りなどの文化が引き継がれ、地域のつながりが強い

地域の主な課題

- ＪＲ乙川駅の北側の活性化
- ピーク時における南北方向の幹線道路の混雑緩和
- 通学路など歩行空間の安全確保
- 公共交通の利便性の確保

（４）地域づくりの目標

○駅周辺の賑わいのある拠点の形成

J R 乙川駅周辺は必要な商業の立地を促進し、賑わいのある拠点づくりを進めます。

○快適で安全に暮らせる住環境の形成

住宅地において、幹線道路の整備や歩行空間の安全確保を図り、安全に暮らせる住環境を形成します。

○臨海部における産業の活性化

臨海部を工業生産の拠点と位置づけ、衣浦港の機能拡充や幹線道路の整備により産業力の強化を図ります。

○身近に水辺や緑を感じられる環境づくり

七本木池や上池、稗田川等の水辺や豊かな緑を保全し、身近に自然を感じられる環境づくりを推進します。



（５）地域づくりの方針

地域拠点

○J R 乙川駅周辺は、駅利用者や地域住民等の利便性を確保するために必要な商業施設等の立地を促進します。

土地利用

住宅地

○半田乙川中部土地区画整理事業により、基盤整備を進め、周辺の自然との調和を図ります。
○既に宅地開発が進んでいる相賀町周辺では市街化区域編入を検討します。

市街化調整区域

○中億田町周辺の新土地需要ゾーンでは、優良な農地の保全に配慮しつつ、開発基準条例等に基づいた企業誘致を推進します。

都市交通

道路

○(都) 衣浦西部線は、早期の事業化を促進します。
○(都) 北条向山線の乙川昭和橋西側について、道路の拡幅を推進します。
○(都) 矢高横川線の未整備区間について関係機関と協議しながら整備を検討します。
○(都) 高根線の整備を促進します。

IV 地域別構想（乙川地域）

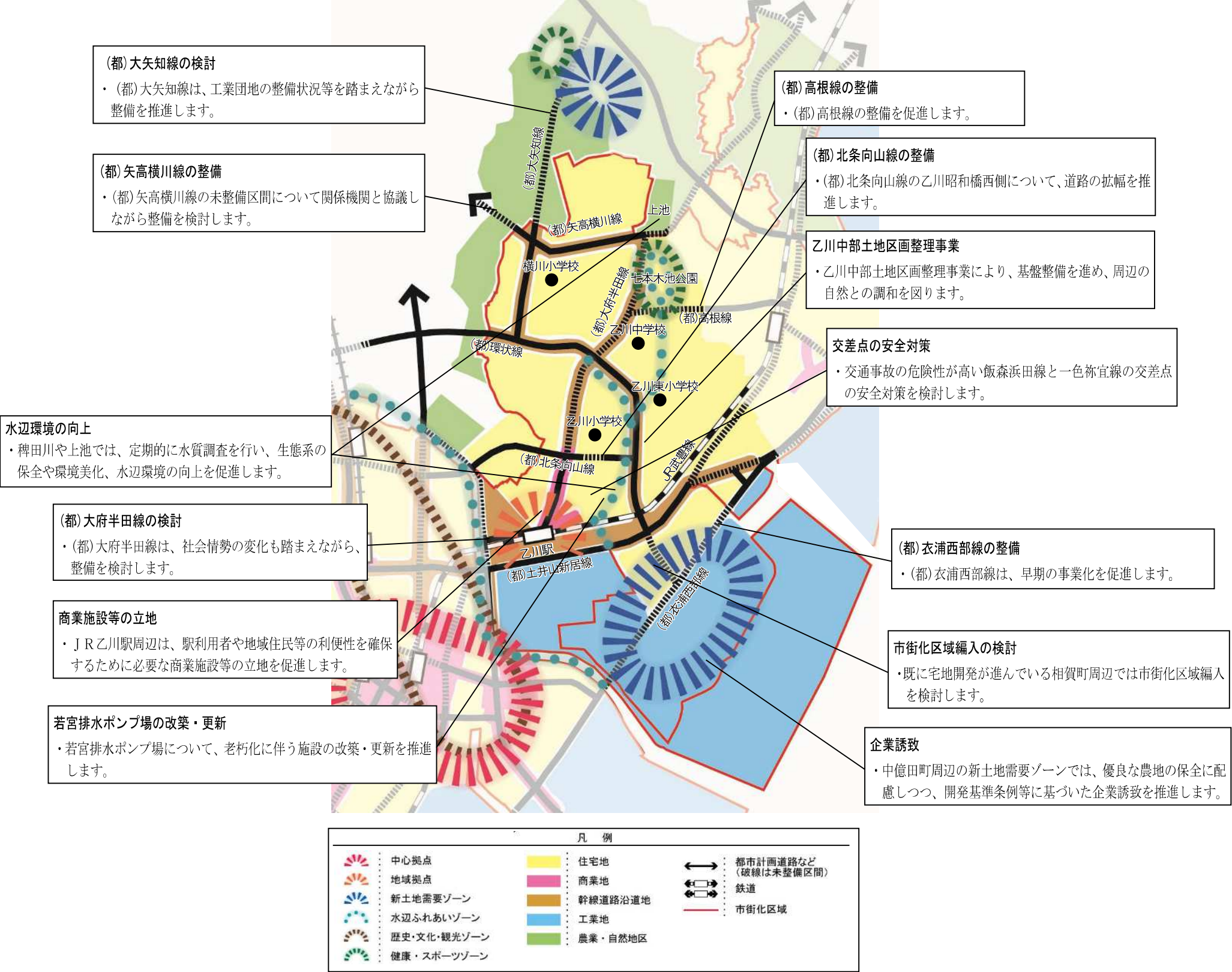
- (都)大府半田線は、社会情勢の変化も踏まえながら、整備を検討します。
- (都)大矢知線は、工業団地の整備状況等を踏まえながら整備を推進します。
- 交通事故の危険性が高い飯森浜田線と一色祢宜線の交差点の安全対策を検討します。

河川・ため池

- 稗田川や上池では、定期的に水質調査を行い、生態系の保全や環境美化、水辺環境の向上を促進します。

下水道

- 若宮排水ポンプ場について、老朽化に伴う施設の改築・更新を推進します。

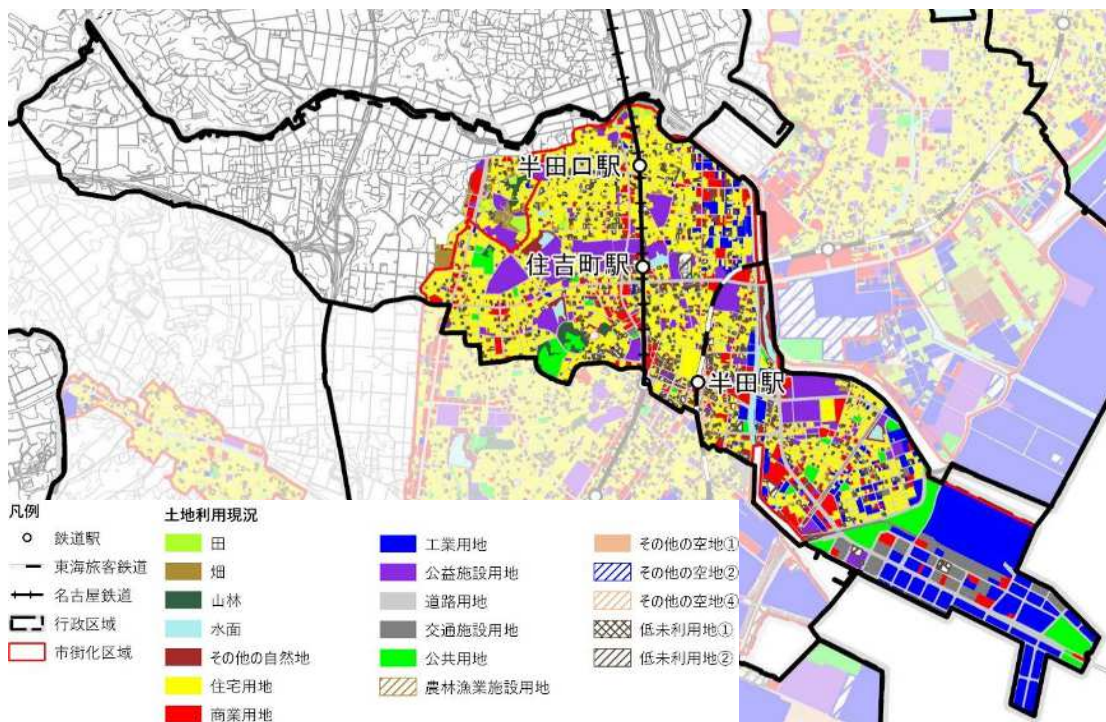


乙川地域の地域づくりの方針図

半田地域

（１）地域の概要

本市の中央部に位置し、名鉄知多半田駅やＪＲ半田駅といった主要な交通拠点があり、市や県の行政機能が集積するなど、商業・行政・交通・居住といった多様な機能が立地しています。また、都市景観大賞を受賞した半田運河や、秋には一面が彼岸花で彩られる矢勝川、半田赤レンガ建物等の半田市を象徴する優れた歴史・文化資源を有する地域です。



■半田地域の土地利用



■半田運河

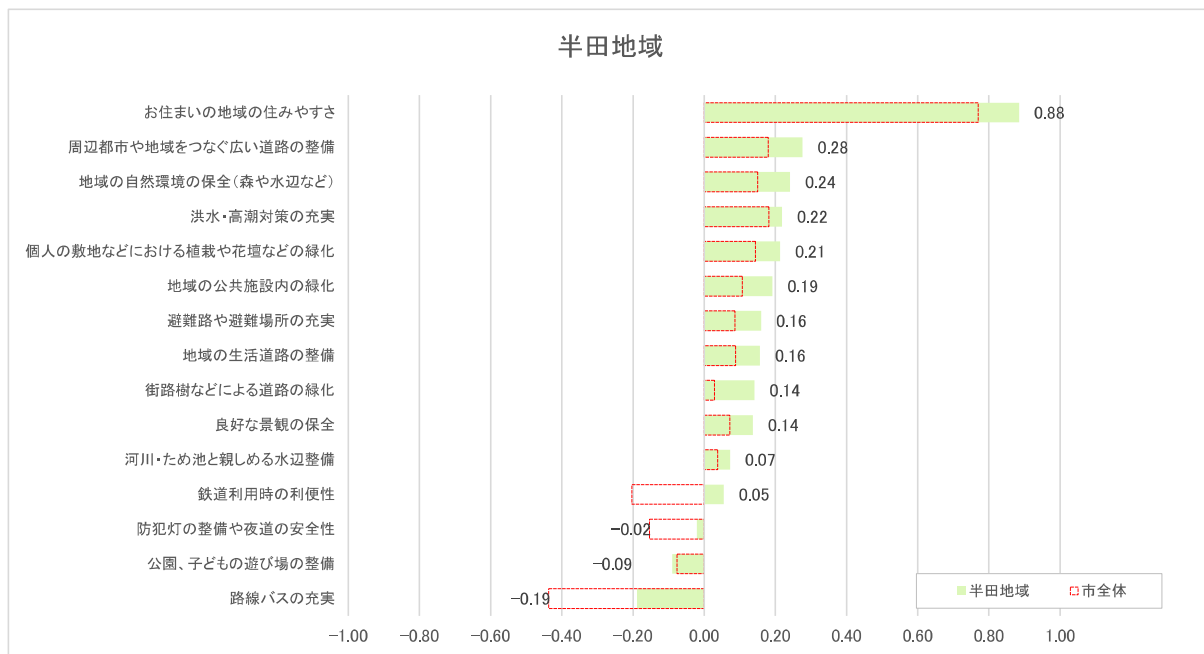


■矢勝川沿いの彼岸花

IV 地域別構想（半田地域）

（２）市民アンケート調査（地域の満足度）

市全体と比較し、おおよそ全ての項目で満足度が高い状況です。特に、「お住まいの地域の住みやすさ」や「周辺都市や地域をつなぐ広い道路の整備」、「地域の自然環境の保全（森や水辺など）」といった満足度が高い状況です。



※満足度を「満足：2点」「まあ満足：1点」「普通：0点」「やや不満：-1点」「不満：-2点」として点数化

■半田地域の現状に対する満足度

（３）地域の特性、主な課題

地域の特性

- 商店や公共施設が集積しており便利
- 公共交通の利便性が高い
- 雁宿公園など魅力的な公園がある
- 半田市を代表する歴史や自然を感じられる（半田運河、新美南吉記念館、半田赤レンガ建物、矢勝川沿いの自然・水辺）

地域の主な課題

- 中心市街地の活性化
- 幹線道路の踏切渋滞の緩和
- 安全な歩行空間、自転車走行空間、生活空間の確保
- 身近な公園が少ない地域がある

（４）地域づくりの目標

○便利さと文化的な豊かさを感じる半田ならではの拠点の形成

中心拠点や地域拠点では、日常生活や公共交通の利便性を確保するとともに、歴史・文化資源を活用し、多くの人で賑わう拠点づくりを進めます。

○便利で安全な生活を支える交通環境の形成

広域的な幹線道路の整備や歩行空間の整備により、安心・円滑に移動できる交通環境を形成します。

○広域的な交通網を活かした産業の活性化

交通利便性が高いインターチェンジ周辺において企業誘致を検討します。

○多彩な歴史・文化、自然を活かした賑わいづくり

半田運河、新美南吉記念館、半田赤レンガ建物、矢勝川等の、半田らしい多彩な地域資源を活かした、賑わいの創出や市民の愛着の醸成を図ります。

（５）地域づくりの方針



中心拠点

○名鉄知多半田駅・ＪＲ半田駅周辺から市役所周辺までのエリアでは、高度利用等による都市空間と歴史・文化・自然の豊かさが融合した、半田らしさを感じられる中心拠点の形成を促進します。

地域拠点

○名鉄住吉町駅周辺は、駅利用者や地域住民等の利便性を確保するとともに、広域的な公的機関や半田赤レンガ建物等の地域資源を活用した賑わいを創出するため、必要な商業施設等の立地を促進します。

○名鉄半田口駅周辺では、交通結節点機能を強化するとともに、景観形成重点地区の玄関口としてのふさわしい空間整備を検討します。

○高架化の検討にあわせ鉄道沿線では、区画整理事業などの基盤整備を検討します。

土地利用

住宅地

○中心市街地にふさわしい土地利用を図るため、市役所周辺の住居系用途地域を見直します。

IV 地域別構想（半田地域）

工業地

○瑞穂町周辺の住工混在がみられる工業地域では、住宅系の土地利用の進行に合わせた用途地域の見直し等により、適正な土地利用を検討します。

市街化調整区域

○半田中央インターチェンジ周辺の新土地需要ゾーンでは、優良な農地の保全に配慮しつつ必要に応じて新たな企業の誘致を検討します。

都市交通

道路

- (都)衣浦西部線は、早期の事業化を促進します。
- 渋滞解消に向け、岩滑中町交差点の改良を促進します。
- (都)前明山中蓮線や(都)名古屋半田線の幅員の狭い区間については、歩道幅員の確保や段差解消等の安全対策を促進します。
- 高等学校周辺等の自転車の通行が多い箇所では、歩行者及び自転車の安全確保のための整備を進めるとともに、学校と協力し交通安全教育を推進します。
- 江川橋は、幅員が狭く老朽化が進んでいるため、かけ替えを検討します。
- 衣浦トンネルの無料化を含め、東西交通の利便性向上を図ります。

公共交通等

- ＪＲ半田駅の利便性の向上のため、駅前広場や駐輪場の整備を推進します。
- 中心市街地の交通拠点である名鉄知多半田駅やＪＲ半田駅と各施設等を結ぶ公共交通ネットワークについて検討します。

港湾

- 衣浦港は新規ふ頭用地の整備や港湾施設の老朽化対策により、利用促進を図ります。

公園・緑地

- 岩滑地区等の公園が不足している地域では、ため池等の公共用地を活用しながら公園等の整備を推進します。
- みなと公園について、地域住民のニーズを反映した再整備を推進します。

河川・ため池

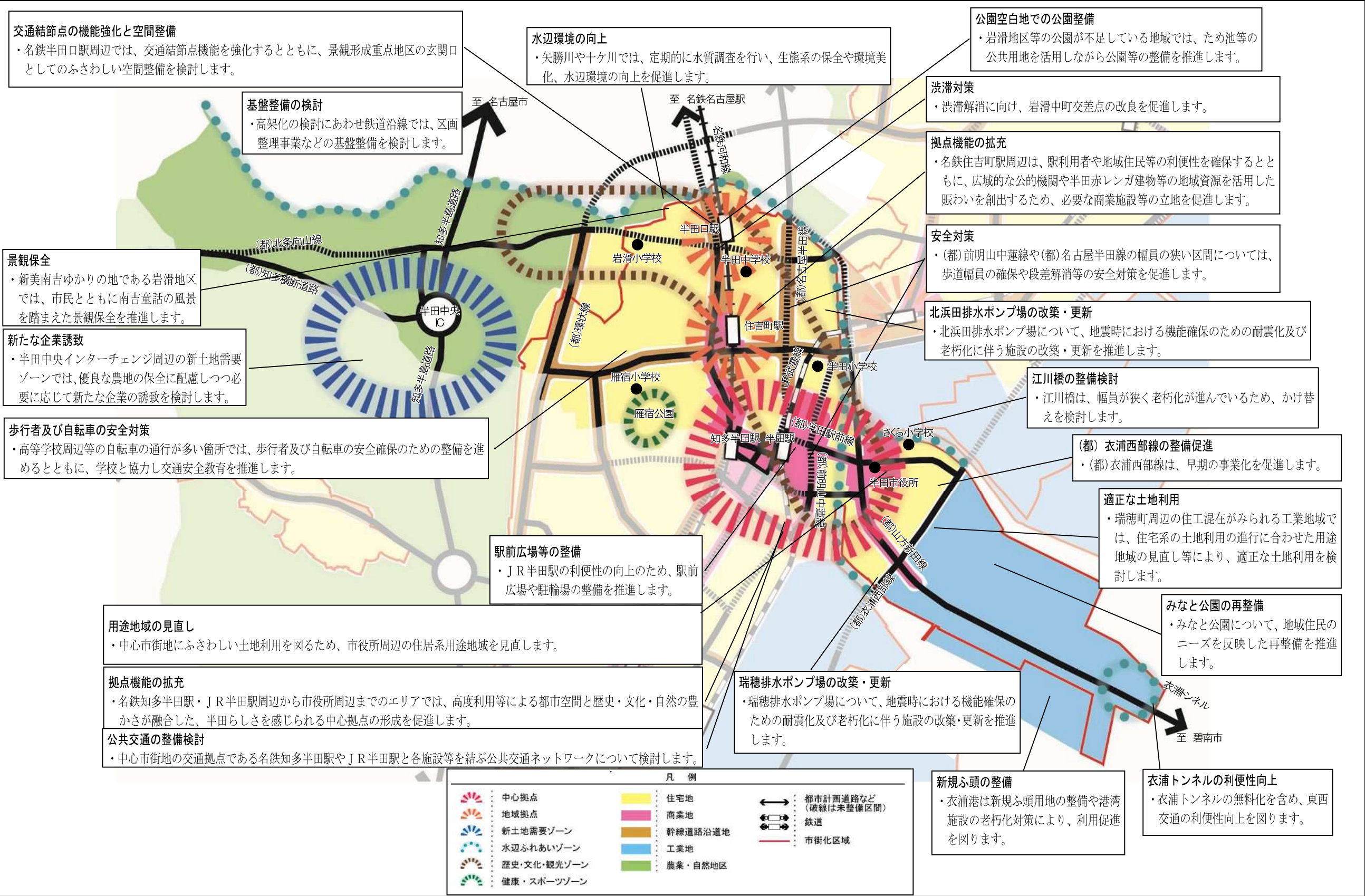
- 矢勝川や十ヶ川では、定期的に水質調査を行い、生態系の保全や環境美化、水辺環境の向上を促進します。

下水道

- 北浜田排水ポンプ場・瑞穂排水ポンプ場について、地震時における機能確保のための耐震化及び老朽化に伴う施設の改築・更新を推進します。

景観形成

○新美南吉ゆかりの地である岩滑地区では、市民とともに南吉童話の風景を踏まえた景観保全を推進します。

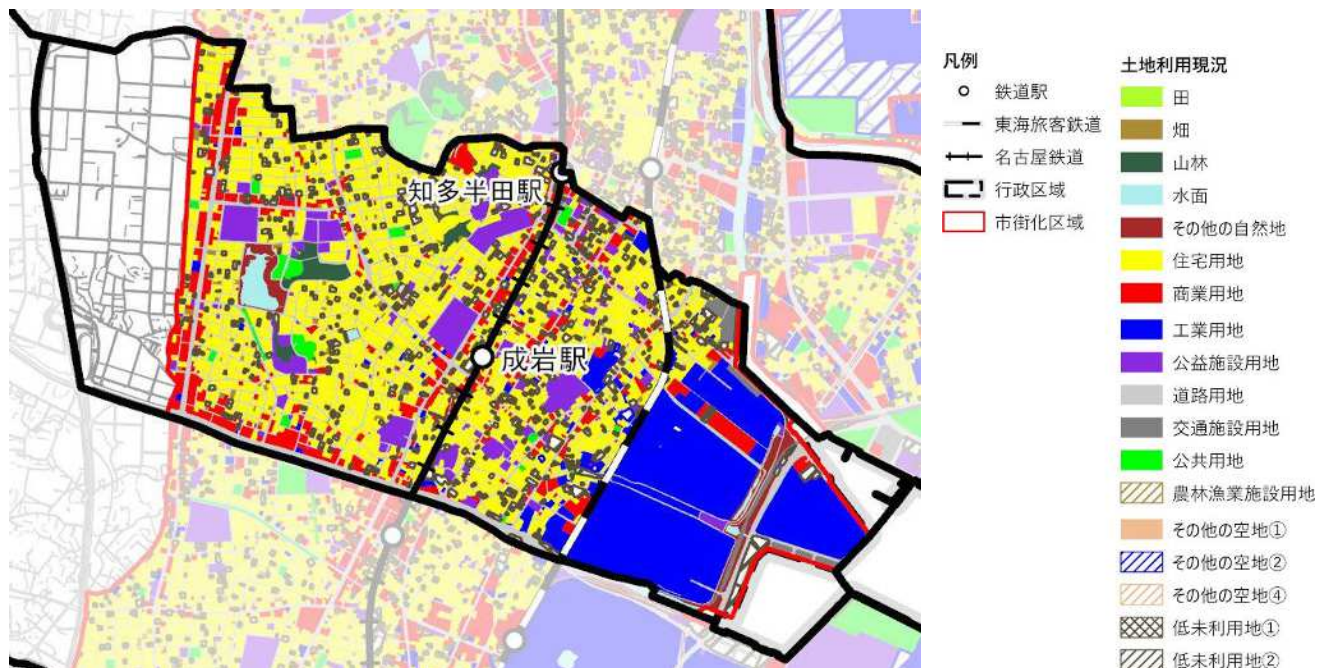


半田地域の地域づくりの方針図

成岩地域

（１）地域の概要

中心市街地の南側に位置しており、地域西部には、図書館、博物館等の文化施設や市街地の中に自然が残る任坊山公園があり、土地区画整理で整序化された閑静な住宅地が広がっています。また、中央部には、既成市街地が広がり、東部の臨海部には工業地が形成されています。



■成岩地域の土地利用



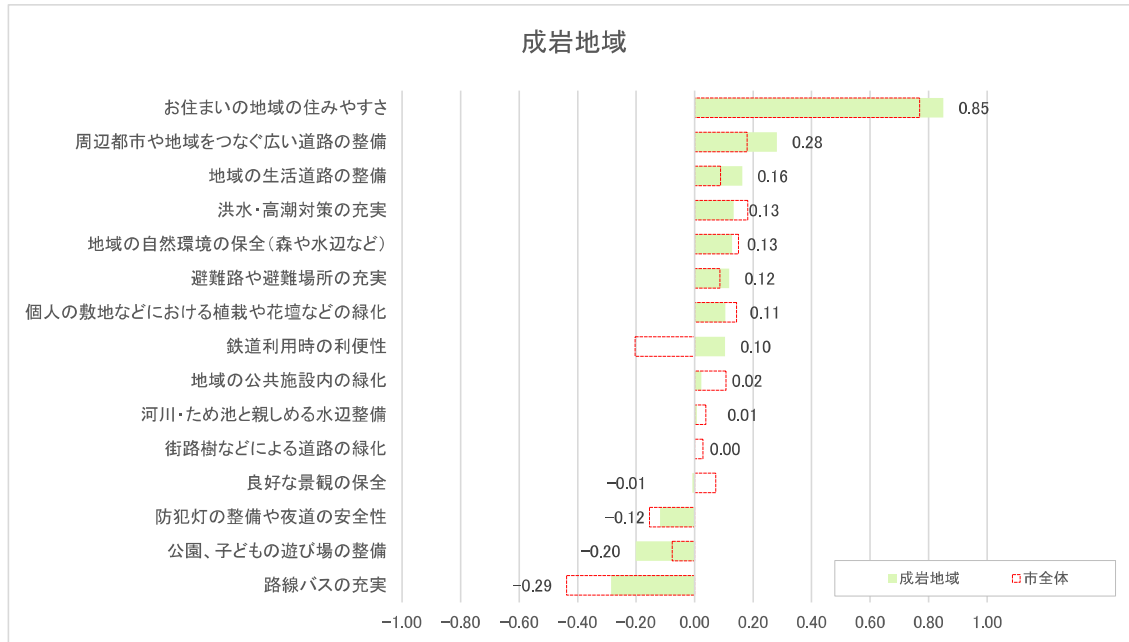
■名鉄成岩駅周辺



■任坊山公園

（２）市民アンケート調査（地域の満足度）

市全体と比較し、「お住まいの地域の住みやすさ」の他、「周辺都市や地域をつなぐ広い道路の整備」「鉄道利用時の利便性」といった道路交通環境の満足度が高い状況です。一方で、「公園、子どもの遊び場の整備」に対する満足度は低い状況です。



（３）地域の特性、主な課題

地域の特性

- 魅力的な文化施設が集積し、子育て関連施設が多い
- ゆとりを感じる落ち着いた居住地がある
- 任坊山公園など自然や緑が多い
- 山車祭礼のある神社（白山神社等）や歴史的な寺院（常楽寺）が立地

地域の主な課題

- ＪＲ武豊線の西側で空き家や空き店舗が多く、既成市街地において身近な公園がない
- 一部区間で渋滞が発生している
- 生活道路が狭く、安全対策が必要な居住地がある
- 宮池の水質改善が必要

（４）地域づくりの目標

○駅周辺の賑わいのある拠点の形成

名鉄成岩駅周辺は、日常生活に必要な商業施設等の集積により、地域生活の利便性を確保し、賑わいのある拠点づくりを進めます。

○身近な自然を感じながら快適に暮らせる住環境の形成

西部の住宅地では、文化施設との調和や身近な自然の保全を図り、閑静な住環境を確保します。また、東部の既成市街地では、適正な土地利用や公園整備を検討します。

○広域的な交通網を活かした産業の活性化

交通利便性が高いインターチェンジ周辺において企業誘致を検討します。

（５）地域づくりの方針



地域拠点

○名鉄成岩駅周辺は、駅利用者や地域住民等の利便性を確保するために必要な商業施設等の立地を促進します。

土地利用

住宅地

○ＪＲ武豊線から（都）前明山中蓮線付近及び（都）知多東部線西側の住工混在が見られる地域では、必要に応じて住居系の土地利用の進行に合わせた用途地域の見直し等により、適正な土地利用を検討します。

商業地

○（都）環状線と（都）南二ツ坂線の沿道では、市民の生活利便性の向上を図るため、良好な住環境にも配慮しながら商業施設等の立地を促進します。

市街化調整区域

○インターチェンジ周辺の新土地需要ゾーンでは、優良な農地の保全に配慮しつつ、民間企業からのニーズに対応するため、交通アクセスの利便性の良さを活かした新たな企業の誘致を検討します。

都市交通

道路

○（都）名古屋半田線について、交差点改良等の交通安全対策を推進します。

公園・緑地

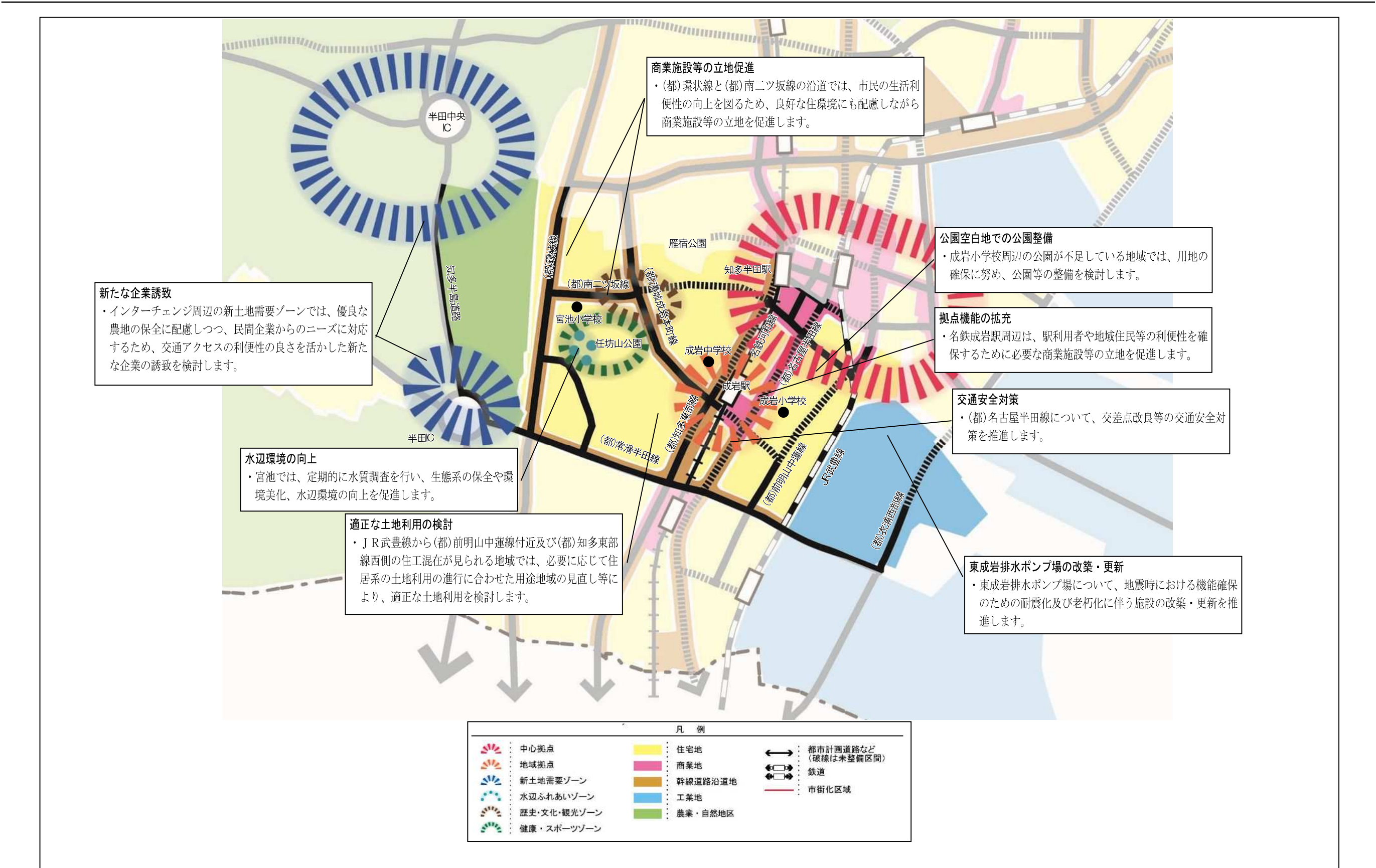
○成岩小学校周辺の公園が不足している地域では、用地の確保に努め、公園等の整備を検討します。

河川・ため池

○宮池では、定期的に水質調査を行い、生態系の保全や環境美化、水辺環境の向上を促進します。

下水道

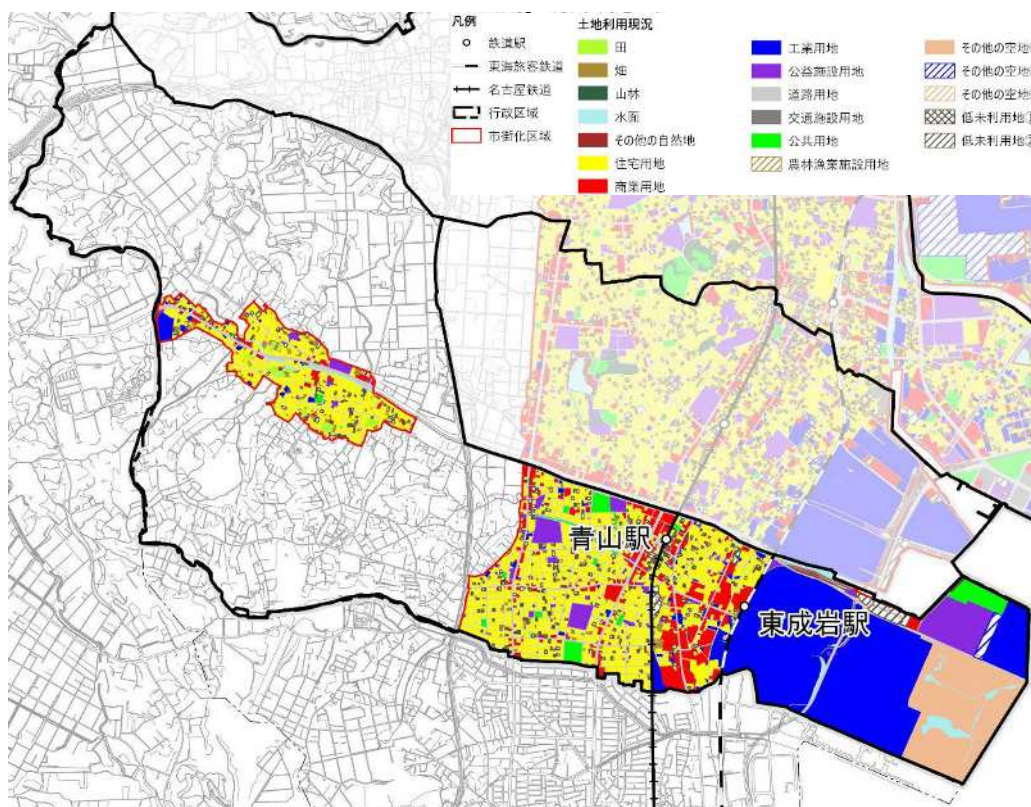
○東成岩排水ポンプ場について、地震時における機能確保のための耐震化及び老朽化に伴う施設の改築・更新を推進します。



青山地域

（１）地域の概要

市の南部に位置しており、土地区画整理事業により利便性の高い商業地と住宅地が形成されています。西部は、稲作、園芸農業、畜産業が盛んで緑豊かな地域が広がっており、その中央部の板山地区には住宅地が形成され、北部には、半田運動公園が整備されています。また、東部の臨海部には工業地が形成されています。



■青山地域の土地利用



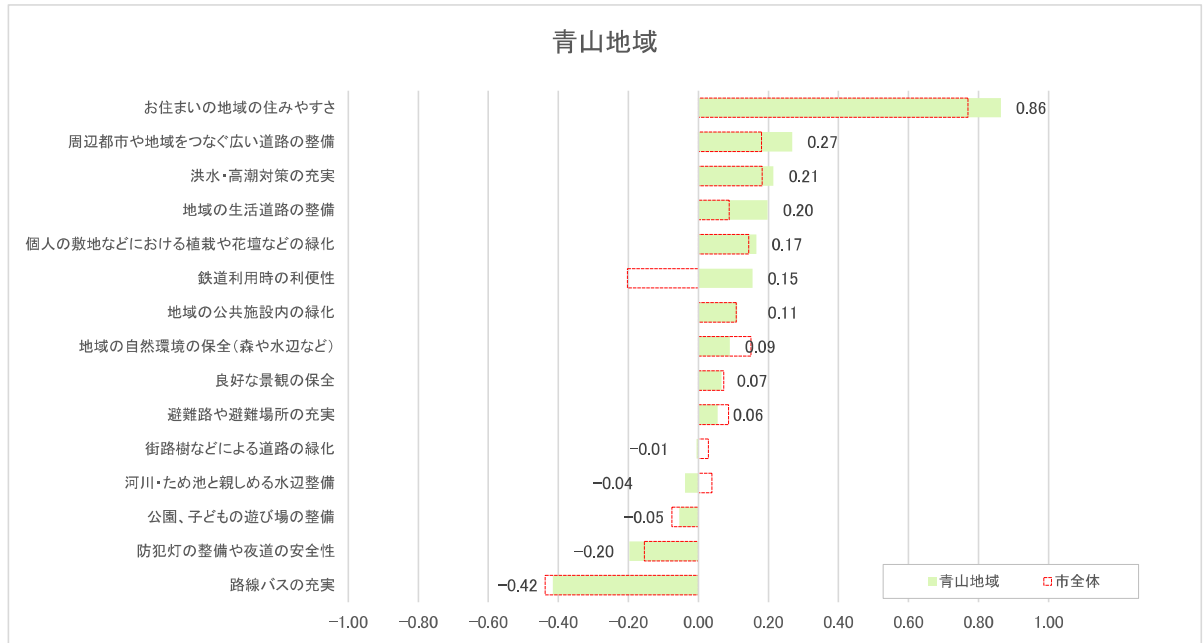
■名鉄青山駅周辺



■半田運動公園

（２）市民アンケート調査（地域の満足度）

市全体と比較し、「お住まいの地域の住みやすさ」の他、「周辺都市や地域をつなぐ広い道路の整備」や「地域の生活道路の整備」「鉄道利用時の利便性」に関する満足度が高い状況です。一方で、「街路樹などによる道路の緑化」や「河川・ため池と親しめる水辺整備」に対する満足度は低い状況です。



※満足度を「満足：2点」「まあ満足：1点」「普通：0点」「やや不満：-1点」「不満：-2点」として点数化

■青山地域の現状に対する満足度

（３）地域の特性、主な課題

地域の特性

- 名鉄青山駅周辺に飲食店、サービス店舗、小売店等が充実している
- インターチェンジや鉄道駅が立地し、交通の利便性が高い
- 自然が豊か
- 半田運動公園が身近にある
- 神戸川が整備され、散策できる

地域の主な課題

- 空き家の増加
- 幹線道路の渋滞緩和や交差点の視認性の改善
- 身近な公園が少ない地域がある

（４）地域づくりの目標

○駅周辺の賑わいのある拠点の形成

名鉄青山駅周辺やＪＲ東成岩駅周辺は新たな店舗の誘致等により賑わいのある拠点づくりを進めます。

○豊かな自然とうるおいを感じる住環境の形成

神戸川等の身近な自然を保全し、うるおいを感じながら暮らせる住環境を形成します。

○広域的な交通網を活かした産業の活性化

交通利便性が高いインターチェンジ周辺において企業誘致を検討します。



（５）地域づくりの方針

地域拠点

○名鉄青山駅周辺は、既に集積する商業機能の維持を図るとともに、新たな店舗の誘致等により、更に賑わいのある商業空間の形成を促進します。

土地利用

市街化調整区域

○十三塚町周辺の新土地需要ゾーンについては、優良農地の保全を考慮しつつ、地区計画制度等を活用した工業団地等の整備を促進し、新たな産業等の企業誘致を検討します。

○インターチェンジ周辺の新土地需要ゾーンでは、優良な農地の保全に配慮しつつ、民間企業からのニーズに対応するため、交通アクセスの利便性の良さを活かした新たな企業の誘致を検討します。

都市交通

道路

○交通渋滞が発生している東郷町の交差点では、関係機関と連携し渋滞解消に向けた対策を促進します。

○（都）常滑半田線の整備を促進します。

○市道有楽鴉根線の見通しが悪い交差点において、視認性の向上等の安全対策を検討します。

公園・緑地

○多くの市民が利用する半田運動公園では、遊具や陸上競技場・テニスコート等のスポーツ施設を安心安全に利用できるよう整備・改善等を推進し、スポーツ機能の充実のため、民間活力を活かした体育館の建設を検討します。

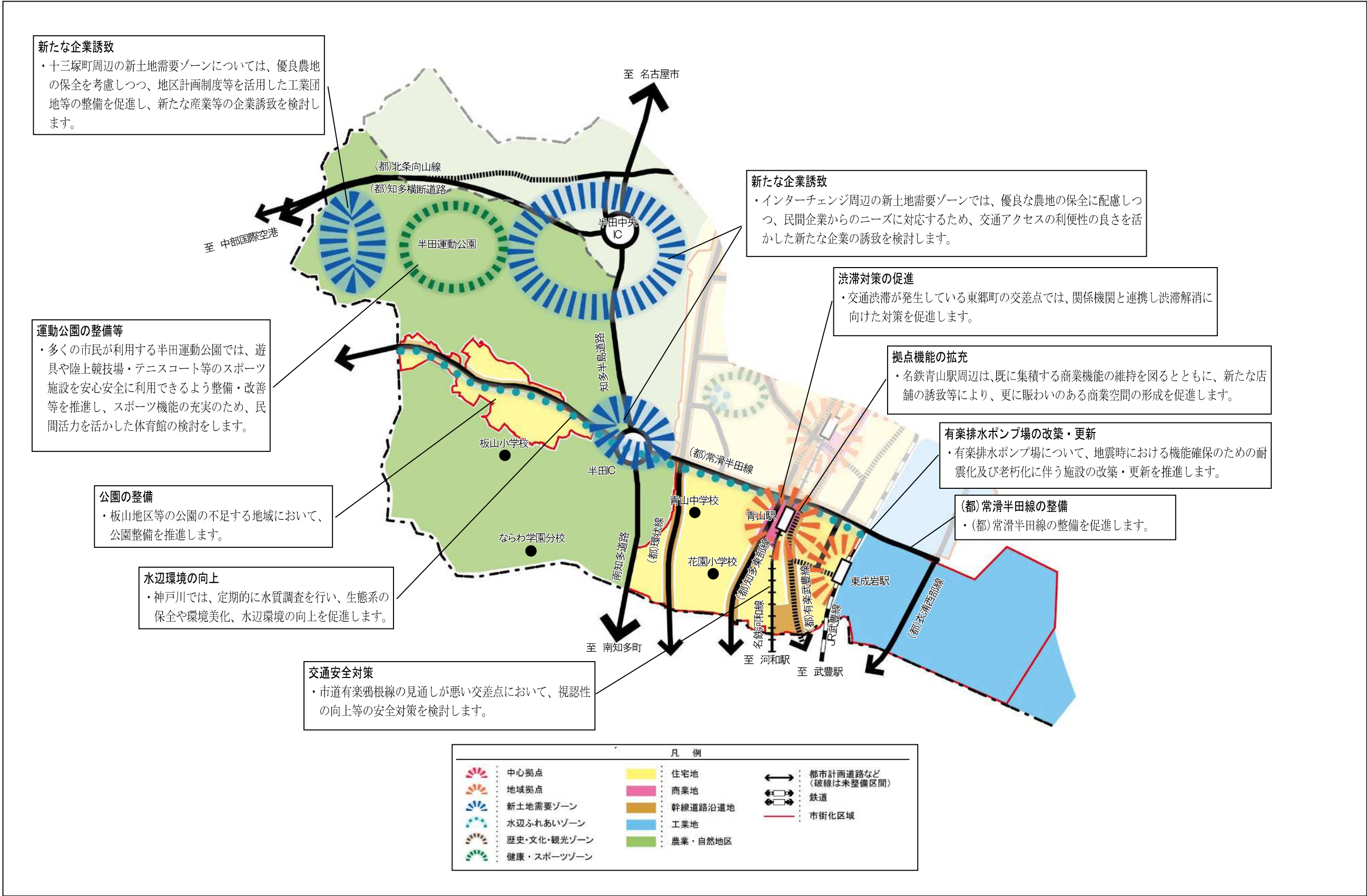
○板山地区等の公園の不足する地域において、公園整備を推進します。

河川・ため池

○神戸川では、定期的に水質調査を行い、生態系の保全や環境美化、水辺環境の向上を促進します。

下水道

○有楽排水ポンプ場について、地震時における機能確保のための耐震化及び老朽化に伴う施設の改築・更新を推進します。



青山地域の地域づくりの方針図